

恐竜の町にある高校 地域がキャンパス

まなびザウルス 鶴川
for Society 5.0

まなびザウルス鶴川 for Society 5.0

令和2年度 北海道鶴川高等学校魅力化事業

令和3年度地域留学生募集人員 2名(全校生徒数138名)

目指す
生徒像

- グローバル化する社会の一員としての基礎的な資質・能力を身に付け地域社会に貢献できる生徒
- 自己の特性や能力を最大限に伸ばさせ、主体的にたくましく生き抜くことができる生徒

特色2

チャレンジスタディ テーマ別学習【週4時間】

生徒の特性や能力に応じたテーマを設定した少人数・習熟度別のグループにより特性や能力を伸ばさせるまなび

アドバンスグループ

上級学校進学を目指した
学習センターでの学習

グローバルグループ

地域の担い手の育成を
目指し、デュアルシステム、検
定、資格取得

スポーツ・アートグループ

本校にある野球、吹奏楽に
特化

特色1

むかわ学 地域課題探究学習【週1時間】

地域全体を学びのキャンパスとしてとらえ、「むかわ竜」や「ししゃも」などの地域資源を題材として、地域振興の観点から地域社会に貢献する態度や課題を解決する能力などを身に付ける新しいまなび



新たな取り組みとして、ICTの活用により、リモート学習が実用化



北海道鶴川高校魅力化コンソーシアム



学生寮

魅力化コーディネーターとむかわ町が一体となって成長をバックアップ

むかわ町支援

むかわ町役場(教育委員会、農政・林務水産・福祉・商工観光・恐竜ワールド推進室など)、鶴川農協、広域農協、森林組合、鶴川漁業組合、観光協会、むかわ地域商社、商工会、保育園、小中学校、消防署、四季の館(道の駅)他

むかわ町との大学連携

北見工業大学、桐生大学 短期学部、北大総合博物館

コンソーシアム顧問として

北海道大学
小林 快次 教授

日本の恐竜研究の第一人者である小林教授をオブザーバーとして、化石の発掘体験やクリーニングなど、学校で恐竜の研究ができる



特別会員
カムイザウルス



新学生寮
建設中!